

平成27年度採択 島根発ヘルスケアビジネス先進モデル構築支援事業 進捗状況

(平成29年2月時点)

代表事業者	事業		状況	
	事業名	ビジネスモデル	現状	今後の展開
株式会社奥出雲振興 	「食」×「温泉」× 「自然」×「産業」= 「健康」 奥出雲町の地域資源を 活かしたヘルスツーリ ズムプログラム「奥出 雲セラピー」によるビ ジネス展開	奥出雲の温泉、エゴマや地域食材 を使ったヘルシー料理、登山・ ウォーキングなどの運動、大人向け そろばんプログラムを組み合わせた ヘルスツーリズム	○ エゴマや地域食材を使ったヘル シー料理（亀嵩膳）を開発。4月 ～11月で2,457食販売。 （一部事業化）	○ 算盤体験、ノルディックウォークを含 むパッケージ商品による宿泊コース、 日帰りコースの構築とインターネット を活用した販売強化を行う。
NPO法人 里山コミッション 	心とカラダに美味しい 健康ビジネスモデル構 築事業	超高水圧技術で処理された玄米によ る健康に良い特別な食事プログラム と、自然を活用した森林セラピー事 業を組み合わせたヘルスツーリズム	○ 玄米を活用した弁当を商品化し、 森林セラピー利用者に月10個程 度を販売。 （一部事業化）	○ 森林セラピー事業の商品化に向け、東 京のストレスチェック等を行っている 会社とモニターツアーを準備中。 ○ 4月初旬にモニターツアーの実施、プラ ンブラッシュアップ、ツアー紹介動画 撮影を行い、7月に本ツアー実施を予 定。
株式会社 バイタルリード 	高齢者サポーターを活 用したお出かけ・リハ ビリ・キレイ・笑顔満 載ツアーによる健康増 進事業	高齢者向けのタクシーを利用した買 物リハビリ、日帰り観光、美容エス テを組み合わせたミニツアー	○ 介護事業所と連携して米子市、奥 出雲町などで買物リハビリ（介護 事業所の車両を活用）を実施。 （事業化）	○ 買物リハビリを他の自治体に対して営 業中。 ○ 買物リハビリ用カート販売と導入コン サルタントにより民需（個人利用者） と介護予防事業等の官需（市町村）を 狙う。
株式会社 伸興サンライズ 	しまね「健」・「職」 スタイル ～職場習慣 から健康を創る～	ITシステムを用いて日常の健康デー タを管理し、被験者の状況に応じて 健康の原点である「食事」と「運 動」の指導・提供を行うサービス	○ システムの無償利用モニター（運 動による効果の検証）を継続中。 （事業化予定）	○ 4月から任意団体「しまねヘルスマネ ジメント協会」を発足させ、会員を募 集し、システム利用料、コンテンツ、 デバイスの有償提供、実地運動指導 サービスの展開、健康弁当の販売に繋 げる。

平成27年度採択 島根発ヘルスケアビジネス先進モデル構築支援事業 進捗状況

(平成29年2月時点)

代表事業者	事業		状況	
	事業名	ビジネスモデル	現状	今後の展開
 <p>内藤株式会社</p>	大田出雲 ヘルスツーリズム創出事業	ヘルスツーリズムに特化した専門事業所を立ち上げ、大田市および近隣の地域資源を活用し、運動療法、気候療法、温泉療法、坑道療法、海岸療法、食事療法などのヘルスツーリズムを提供	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門事業所「山陰健康ラボ」を立ち上げ、温泉津で温泉やウォーキングなどの体験プログラムを提供中。(一部事業化) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ヘルスツーリズム認証(平成29年度開始予定)を目指すとともに、市内各地や大田市クワオルト協議会などと連携して、ヘルスツーリズムの提供を目指す。
 <p>NPO法人生活習慣病予防研究センター</p>	高い質と多様な住居・生活支援サービスを提供するシニア・コミュニティ構築	出雲市で質の高い老後生活を送ることのできるシニア・コミュニティを構築する 自治体を含む有料施設ネットワークを形成し、人材育成やPRによって県外等から移住を促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設ネットワークの構築に必要なメリット(「入居者増」や「共通課題の解決」など)を示すことができず、有料のネットワークが形成されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成28年8月にプロジェクト会議を市役所等と立ち上げ、介護人材の確保・定着などの共通課題について検討中。
 <p>モルツウェル株式会社</p>	栄養管理食品とマッサージを活用した出張福利厚生ビジネスモデルの創出	栄養を考慮した食事の提供(オフィス置き惣菜)と出張マッサージを組み合わせた、新たな福利厚生サービス提供	<ul style="list-style-type: none"> ○ IT企業を対象に置き惣菜の検証を実施したが、有料サービス提供には至っていない。 ○ 出張マッサージは連携事業者の事情により休止。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商品開発に向けて社内組織体制の再設計や、ヘルスケアビジネスに対応する訪問管理栄養士等の専門組織づくりを進める。
 <p>株式会社メディアスコープ</p>	認知症高齢者および介護支援者への支援システム「回想法ケアビジョン」の開発	回想法という高齢者の思い出を蘇らせ、認知症予防に繋げるシステムを開発することで、介護予防と介護従事者の支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> ○ システムは開発したが、コンテンツの著作権等が課題となり有償提供に至っていない。 ○ 介護施設での効果検証までは実施できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 著作権をクリアした過去映像の収集。 ○ 認知症予備軍となる地域コミュニティ向けにシステムの検証を検討。

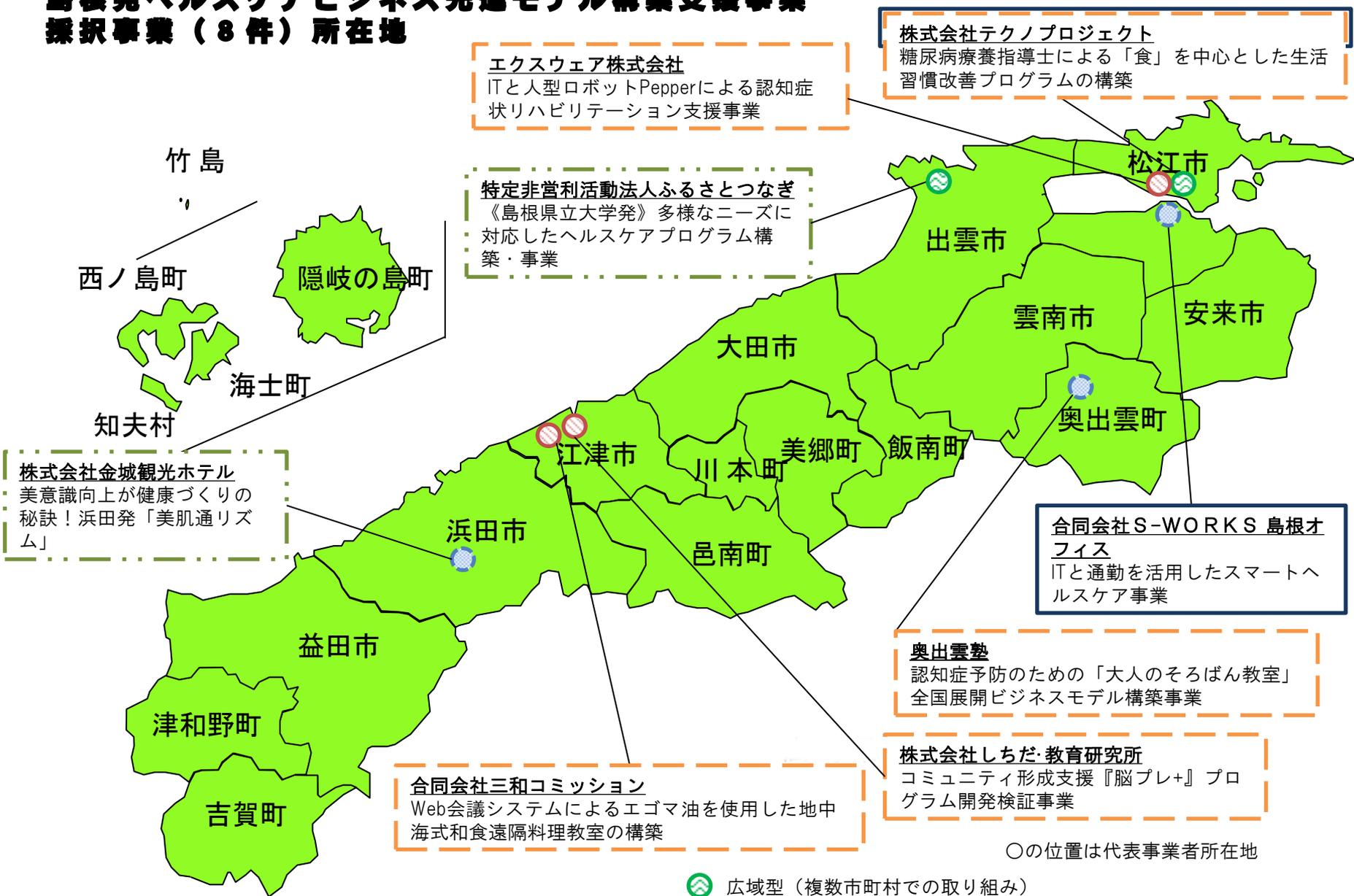
平成28年度 島根発ヘルスケアビジネス先進モデル構築支援事業 採択一覧

	カテゴリ	区分	実施地域	代表事業者	事業名称
1	健康経営	③	雲南市	合同会社S-WORKS 島根オフィス	ITと通勤を活用したスマートヘルスケア事業
2	健康経営、生活支援・介護予防サービス	①	松江市 出雲市 益田市 邑南町	株式会社テクノプロジェクト	糖尿病療養指導士による「食」を中心とした生活習慣改善プログラムの構築
3	生活支援・介護予防サービス	②	出雲市	エクスウェア株式会社	ITと人型ロボットPepperによる認知症状リハビリテーション支援事業
4		③	奥出雲町	奥出雲塾	認知症予防のための「大人のそろばん教室」全国展開ビジネスモデル構築事業
5		②	川本町	合同会社三和コミッション	Web会議システムによるエゴマ油を使用した地中海式和食遠隔料理教室の構築
6		②	江津市	株式会社しちだ・教育研究所	コミュニティ形成支援『脳プレ+』プログラム開発検証事業
7	ヘルスツーリズム	③	浜田市	株式会社金城観光ホテル	美意識向上が健康づくりの秘訣！浜田発「美肌通リズム」
8		①	出雲市	特定非営利活動法人ふるさとつなぎ	《島根県立大学発》多様なニーズに対応したヘルスケアプログラム構築・事業

<区分>

- ① 広域型
- ② 地域型(単一市町村での取り組み)・医学的検証を含む
- ③ 地域型(単一市町村での取り組み)・医学的検証を含まない

平成28年度 島根発ヘルスケアビジネス先進モデル構築支援事業 採択事業（8件）所在地



エクスウェア株式会社
ITと人型ロボットPepperによる認知症
状リハビリテーション支援事業

株式会社テクノプロジェクト
糖尿病療養指導士による「食」を中心とした生活
習慣改善プログラムの構築

特定非営利活動法人ふるさとつなぎ
《島根県立大学発》多様なニーズに
対応したヘルスケアプログラム構
築・事業

株式会社金城観光ホテル
美意識向上が健康づくりの
秘訣！浜田発「美肌通リズム」

**合同会社S-WORKS 島根オ
フィス**
ITと通勤を活用したスマートヘ
ルスケア事業

奥出雲塾
認知症予防のための「大人のそろばん教室」
全国展開ビジネスモデル構築事業

合同会社三和コミッション
Web会議システムによるエゴマ油を使用した地中
海式和食遠隔料理教室の構築

株式会社しちだ・教育研究所
コミュニティ形成支援『脳プレ+』プロ
グラム開発検証事業

○の位置は代表事業者所在地

- 広域型（複数市町村での取り組み）
- 地域型（単一市町村での取り組み）・医学的検証を含む
- 地域型（単一市町村での取り組み）・医学的検証を含まない

事業概要図



事業で得られた成果

(ビジネス面)

- ・本プログラムが生活習慣を改善できるものと実証でき、県内展開に向けパッケージ化できた。
- ・栄養指導支援ツール試作によってツールの有効性を確認できた

(健康面)

- ・参加者の96%に気持ちの変化が生まれ、また79.6%に検査値の改善がみられた。

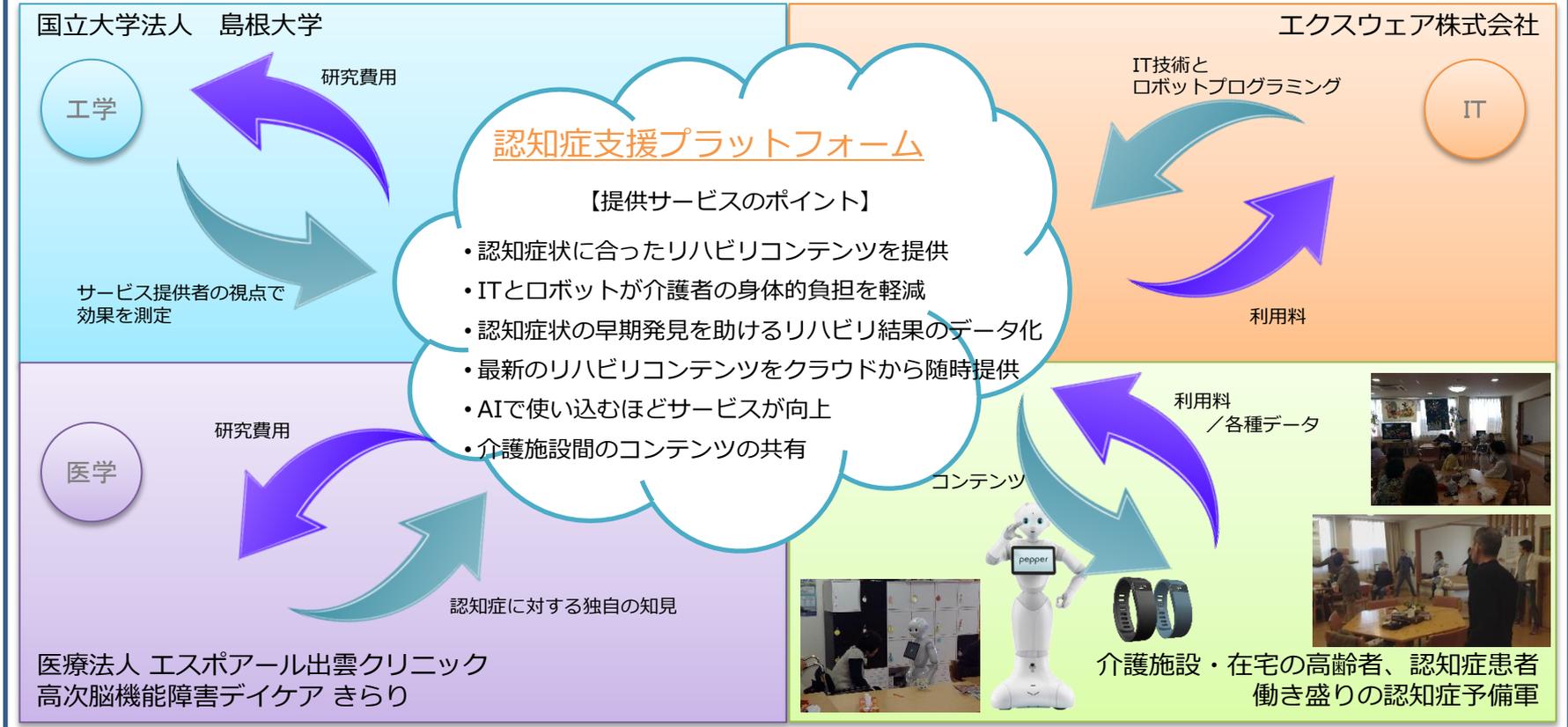
今後のビジネス展開

- ・島根県内の中小企業、中小規模自治体をターゲットに、本プログラムを販売していく。尚、自治体向けには、自治体栄養士を育成し支援する人材育成オプションもあわせて販売する。
- ・ICT支援ツールを今後クラウドサービス化し、全国の管理栄養士向けに販売

ビジネス展開する上での課題

- ・健康経営のために投資する中小企業がどれだけあるかが不明確
- ・プログラムを販売する価格について、血液検査料が高額なため、安価にする方法を検討する必要あり
- ・ICT支援ツールをクラウドサービス化するよう改修が必要

事業概要図



事業で得られた成果

(ビジネス面)
人型ロボットは認知症状のある方にも受け入れられる。

(健康面)
人型ロボットを媒介として会話の促進や運動の促進が可能になり、精神面や肉体面での健康維持に役立つ

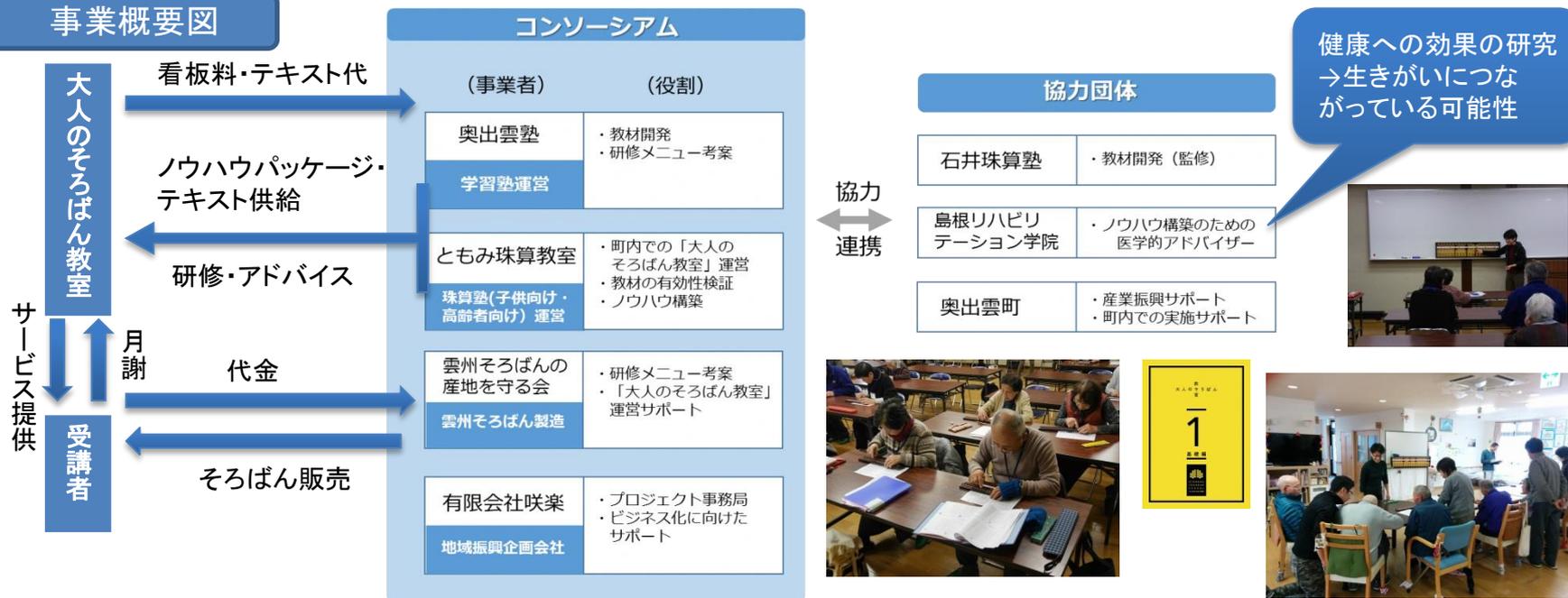
今後のビジネス展開

- 介護施設での追加検証
- コンテンツの充実
- 見守り機能の追加
- アラート機能の追加
- スマートフォンアプリの開発
- 適用範囲を認知症予備軍に拡大
- ロボットプログラムを汎用化

ビジネス展開する上での課題

- 人型ロボット
- 会話機能の向上
- 個人の認識機能の向上
- ロボットの導入・維持費用
- ウェアラブルデバイス
- 体温・血圧の取得
- 装着方法とフィット感の改善

事業概要図



大人のそろばん教室 収支例 週1回約2時間 生徒20名

収入	支出	収支
月謝3,000円×20人 =60,000円	ロイヤリティ5,400円、教室使用料4,000円、テキスト教材費500円×20人=19,400円	40,600円

大人のそろばん教室本部 1ヵ月あたり収支例

収入	支出	収支
1教室あたりロイヤリティ5,400円、生徒1人あたりテキスト販売500円	テキスト印刷代約150円	1教室あたりロイヤリティ5,400円、生徒1人あたりテキスト収益350円

事業で得られた成果

(ビジネス面)

- ・運営ノウハウの蓄積、多様なシーンにおける検証による標準仕様の構築
- ・差別化を図る教材開発

(健康面)

- ・高齢者の生きがい(向上心、やりがい、達成感)を持つことに効果がある可能性

今後のビジネス展開

- ・教材のさらなる開発
- ・町内公民館での展開により地域に根をおろす(4月から1教室開設が決定)
- ・直営に近い形での町外県外での教室開設
- ・参画者への研修の実施
- ・学部協力者による教室開設

ビジネス展開する上での課題

- ・健康への効果のさらなる検証
- ・継続者を飽きさせない教材開発
- ・対象者別、回数別のノウハウの蓄積
- ・研修メニューの確立
- ・協力者、参画者の確保、拡大(そろばん教室業界に保守的な雰囲気)

事業概要図

認知症予防遠隔料理教室

【背景】

認知症が予防できるというエビデンスが確立されつつあり、特に地中海式食事により、ある程度予防が可能

【島根県の抱える中山間地の問題点】

- ・医療資源が乏しい
- ・高齢化が進んでいる
- ・認知症患者の増加
- ・地域のコミュニティーが崩壊しつつある

【本事業の方法】

Web会議システムによるエゴマ油(川本町特産)を使用した地中海式和食の遠隔料理教室を町内3箇所にて構築

【本事業のゴール】

中山間地における認知症の標準予防法の確立
⇒川本町における認知症関連医療費を削減



事業で得られた成果

(ビジネス面)

- ・ヘルスケアビジネスでのLiveOn導入事例を拡大
- ・エゴマ醤油の開発

(健康面)

- ・地中海和食の認知機能低下抑制作用

今後のビジネス展開

- ・エゴマ醤油の販路拡大
- ・LiveOn導入事例の拡大
- ・認知症予防のレシピとしての商品化
レシピ集の編集集中
- ・公民館活動との連携を図りながら、の「小さな拠点づくり」としての遠隔料理教室を拡大していく

ビジネス展開する上での課題

- ・地中海和食の認知機能低下予防効果についてさらに長期間の観察期間が必要
- ・エゴマ醤油の販路の拡大においては専門の業者との連携が必要。
- ・エゴマ醤油を作成にはエゴマ油の安定的な供給が必要となる。

事業概要図

しちだ・教育研究所

- 【七田式脳トレプロジェクト】
- ・集合学習の開催（週1回）
- ・デイリープリント（週5回）

山陰中央新報社

- 『N I S』
Newspaper In Senior
- 【コミュニティ新聞プロジェクト】
- ・新聞コラムの書き写し
- ・地域コミュニティ新聞の作成
- ・山陰中央新報本紙掲載

島根えごま振興会

- 【えごま油プロジェクト】
- ・えごま油の常用摂取（7ml）

脳プレ+

高齢者モニター

【江津市】

- ・新聞+脳トレ
+えごま油G
- ・新聞+脳トレG
- ※集合型研修は、
嘉久志、黒松の各地域
交流コミュニティセンター
で開催。



【川本町】

- ・えごま油G
- ・コントロールG

【奥出雲町】

- ・えごま油G
- ・コントロールG



島根大学医学部

医学的検証

エビデンス取得

【七田式脳トレP】

・前頭葉の活性化

・血圧低下

【コミュニティ新聞P】

・孤独感の低下

・やる気の高揚

【えごま油P】

・前頭葉の活性化

島根県立大学
出雲キャンパス

収益モデル

Step1

認知症予防プロジェクトの
メニュー化

Step2

県内のコミュニティへの
サービス販売
・自治体
・介護福祉施設など

Step3

新規販売チャネル開拓
既存チャネルでの新たな展開

元気

生きがい

高齢者

生活の質（QOL）向上

自己充実

社会参画

コミュニティ形成支援
認知症予防による医療費軽減

事業で得られた成果

(ビジネス面)

- ・平成29年1月に江津市嘉久志地域の
自主事業として正式にスタート(有料)
- (健康面)

- ・認知機能、人間関係の満足度、やる
気などのメンタル面及び血圧などで有
意な結果が得られた。

今後のビジネス展開

- ・山陰両県の自治体を中心に推進し、
その後、段階的に全国展開を目指し、
各地域の高齢者の認知症予防、コミュ
ニティ形成支援を進める。

さらに、自治体を含めた上記のような
新たなチャネル開拓をめざし、展開を
図る。

ビジネス展開する上での課題

- ・地域ごとにニーズや金銭的な負担に
差があるため、脳トレにコミュニティ新聞
Pやえごま油Pを組み合わせたメニュー
を提示し、個々に応じたサービスを提供
する。健康寿命延伸による公的保険の
支出軽減の観点を自治体に理解いた
だき、活動に対する支援をお願いする。

事業概要図

社会進出を果たし生き方の選択肢が増え、仕事や家庭の狭間で柔軟に時間を使い、健康維持を心掛けている女性に対し、「美肌通リズム」を提供し、美意識向上が健康づくりの秘訣という気づきを提供する取り組みです。

ある調査結果によると、女性の多くが健康に関心を持ち、価格よりも効果効能や品質を求めていることが分かります。

- ・健康や美容に関して気になること 1位 肩こり 2位 運動不足 3位 睡眠不足 4位 肌荒れ 5位 腰痛
- ・健康維持のためにやっていること 1位 栄養バランスに気をつける 2位 睡眠時間を十分にとる 3位 規則正しい生活を送る
- ・健康補助食品やサプリメントを購入する場合、何を一番重視するか 1位 効果効能(40.6%) 2位 品質(29%) 3位 価格(18.8%)

美肌通リズムのコンセプト

ターゲット

いつまでも美しくありたいと願う女性

美意識刺激
プログラム体験料
利用料

企画商品「美肌通リズム」

美肌の湯・美肌&健康食・ホースセラピー

美肌通リズムの構成及び価格

美肌温泉+美肌食(新)+宿泊+ホースプログラム(新)+キビソタオル
27,000円(税込み)



事業で得られた成果

(ビジネス面)

美意識を共通のキーワードとして「美肌通リズム連携事業者会」を組織することができ、企画商品の開発を行うことができた。

(健康面)

学術的に検証を得たホースプログラムを取り入れたことで「美肌通リズム」という、温泉+食+乗馬療法のプログラムが完成した。

今後のビジネス展開

かなぎウエスタンライディングパークには県内外から美意識の高い女性が乗馬に訪れており、また、美又温泉は美肌の湯として多くの観光客を得ている。この既存の利用者に対して美意識を刺激する「美肌通リズム」を的確にPRし、浸透を図っていく。

この取り組みは、多くのマスメディアの注目を集めており、手ごたえを感じている。

ビジネス展開する上での課題

大きな動物である馬に対する「食べず嫌い」的な苦手意識が潜在的にあるため、ふれあいの場を多く設け、身近な動物であり、とても有益なパートナーであることの理解を深める取り組みが必要。

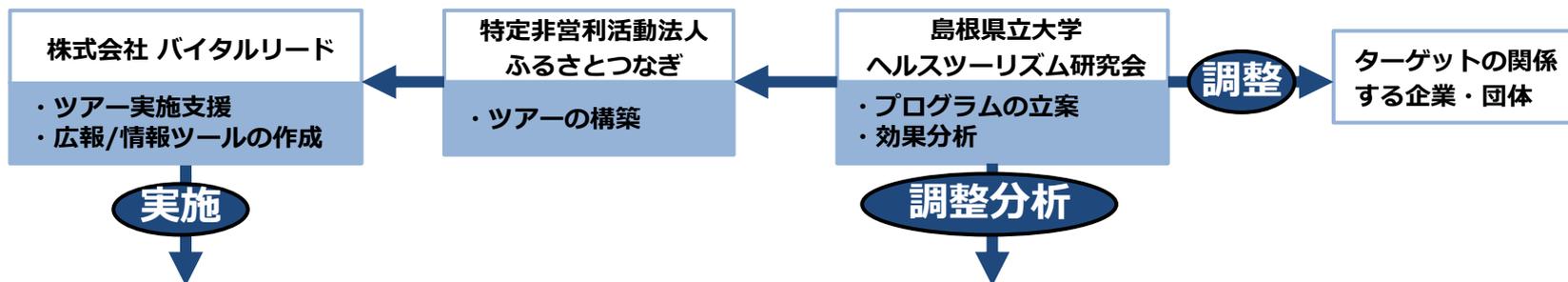
また、美肌通リズムの浸透を図る必要があり、SNS等の情報発信やマスメディアへの露出を増やす取り組みが必要。

事業概要図

事業概要

- 島根県立大学出雲キャンパスの教員が、専門性を活かし、疾患・症状に対応したヘルスケアプログラムを構築することで、疾患・症状に悩む人の症状改善を図るため、島根県内の温泉・食・特産品等の資源を有効に活用し、特定のターゲットに向けて健康増進や病状の緩和を目的としたツアープログラムを構築した。
- それぞれのヘルスケアプログラムは地域の特性（温泉・えごま・どじょうなど）を活用し、その地域独自のオリジナルプログラムとすることで地域の魅力拡大に繋げることを目指した。
- 構築した5つプログラムでモニターツアーを実施し、健康に対する効果測定・検証を行った。

実施体制



プログラム

糖尿病・ロコモ予備軍の中高齢などターゲット別に5つの「ヘルスケアプログラム」を構築し、モニターツアーを実施し効果測定を行った。

心と身体をリフレッシュ！～糖尿病患者さんのためのヘルスツアー～
ターゲット：糖尿病患者

幸せ力UPついでに介護力UPツアー
ターゲット：認知症介護家族

エゴマ収穫探検とエゴマクリーム使用体験の旅
ターゲット：乾燥肌及び
スキンケアに関心のある人

健康寿命を延ばそう！ロコモ予防で素敵にウェルエイジング
ターゲット：中高年女性

マイナスをプラスに転じる旅
ターゲット：大手企業の職員とその家族



事業で得られた成果

(ビジネス面での効果)

- 対象とした各症状に悩む方や健康意識が高い方等、ツアーのターゲットを絞ることで効果的な集客へ繋がり、全体的に満足度の高いツアーを実施できた。
- ※アンケートの結果ツアーに対しての満足度について「満足」という回答が約8割
- ※参加者数は延べ105人（目標の参加者数100人を上回った）

(健康面での効果) 別紙①を参照

今後のビジネス展開

- ツアーは商品化し、(株)バイタルリードの「シェアナビ」に掲載し、WEB上での集客へ繋げる。別紙①を参照
- 県内の療養者団体等を対象として、島根県民が元気になるよう、今後も魅力ある課題解決に向け新たなプログラム開発に取り組む。

ビジネス展開する上での課題

- モニターツアーということで安価な価格で実施したため、売上ではバスの借料といった経費を回収できていない。本格的なビジネスとして展開するに当たり、最少催行人数を設定や現地集合型のプランへの切り替え等を検討する必要がある。
- 島根県立大学の研究倫理審査により周知の時間が十分に確保できなかったため、研究と併せた形でツアーを実施する場合、開催時期等について再考が必要である。

代表事業者名 : 特定非営利法人ふるさとつなぎ
 参加団体名 : 島根県立大学ヘルスツーリズム研究会
 株式会社バイタルリード
 実施地域 : 出雲市
 事業区分 : 地域型 (医学的検証含む)

各プログラムの概要と得られた効果

心と身体をリフレッシュ！～糖尿病患者さんのためのヘルスツアー～

プログラム概要

糖尿病患者の方を対象に、食メニューの開発等、地域資源を活用したプログラムを構築するため、美郷町を会場として3回にわたってモニターツアーを実施した。

ターゲット：糖尿病患者 (「糖尿病友の会」所属の会員)



効果

- 気分・感情評価指標(POMS2)によりツアー参加前後を比較したところ、活気・活力は上昇しており、湧活につながった。
- 抑うつ・落込み、疲労・無気力、緊張・不安の3尺度が有意に低下しており、うつ予防の効果が期待できた。

健康寿命を延ばそう！ロコモ予防で素敵にウェルエイジング

プログラム概要

ロコモティブシンドロームの予防を目的に、伝統民謡「安来節」を活用したモニターツアーを安来市で実施した。

ターゲット：婦人会等に所属する中高年の女性層



効果

- モニターツアー実施3か月後に行ったロコモ度調査では、15名中11名の点数が改善。(残り4名は未調査)
- 更に、9割以上の参加者において健康への意識が向上した。

幸せ力UPついでに介護力UPツアー

プログラム概要

認知症介護家族が日頃の介護中心からの生活から離れ、「介護者が心身のリフレッシュが出来るプログラム」の構築を目的にモニターツアーを実施した。

ターゲット：在宅で認知症の方を介護されている方



効果

- CMI健康調査で身体的自覚症状得点、精神的自覚症状得点が低下した。
- 1人ではあるが血圧が安定した人がいた。
- 現役介護者と介護OBとの交流が図れ、介護に関する意見交換ができた。

マイナスをプラスに転じる旅

プログラム概要

働いている人とその家族へ明日の活力となる「癒やし」のメニューを提供し、ストレスの改善を目的としたプログラムの構築を目指した。

ターゲット：大手企業の職員とその家族



効果

- モニターツアー当日は、悲観的な考えがやや改善し、温泉浴後に疲労度が有意に低下した。
- 1か月後の調査結果では、半数がヘルスツーリズムをきっかけに「考え方が変わった」「ものの見方や捉え方が変わった」「行動が変わった」と回答し、実際に気分転換やリラックスできることを日常生活の中で意図的に行うようになっていた。



エゴマ収穫探検とエゴマクリーム使用体験の旅

プログラム概要

エゴマ油を使った食事療法やエゴマ軟膏のアレルギー抑制への有効性が報告されていることからアトピー患者向けのプログラムを構築を目指した。

ターゲット：乾燥肌の方、スキンケアに関心のある方



効果

- 川本町の雰囲気・景観のよさについて満足度が高く、エゴマの収穫体験や食事を通してエゴマについての理解が深まった。
- エゴマ油の効用について、乾燥肌の方やスキンケアに関心のある方の理解が深まった。



具体的なビジネス展開

「シェアナビ」を活用したビジネス展開

- シェアナビとは、(株)バイタルリードが運営している、インターネット上でイベント等の募集を行い、参加者を集客するサービスである。
- 最少催行人数が集まれば必ず実施し、1人当たりの料金が定額となる「定員シェア」や参加者が1人でも催行し、基本料金を人数で割る「得得シェア」といったサービスを提供している。



「シェアナビ」のメリット

- ① 最少催行人数を設定できるため企画側のリスクが少なく、参加者の利用金負担を抑えることができる。
- ② インターネットという媒体を利用するため、健康に対して同じ悩みや症状を持っている人を広くインターネット上で募集が可能である。